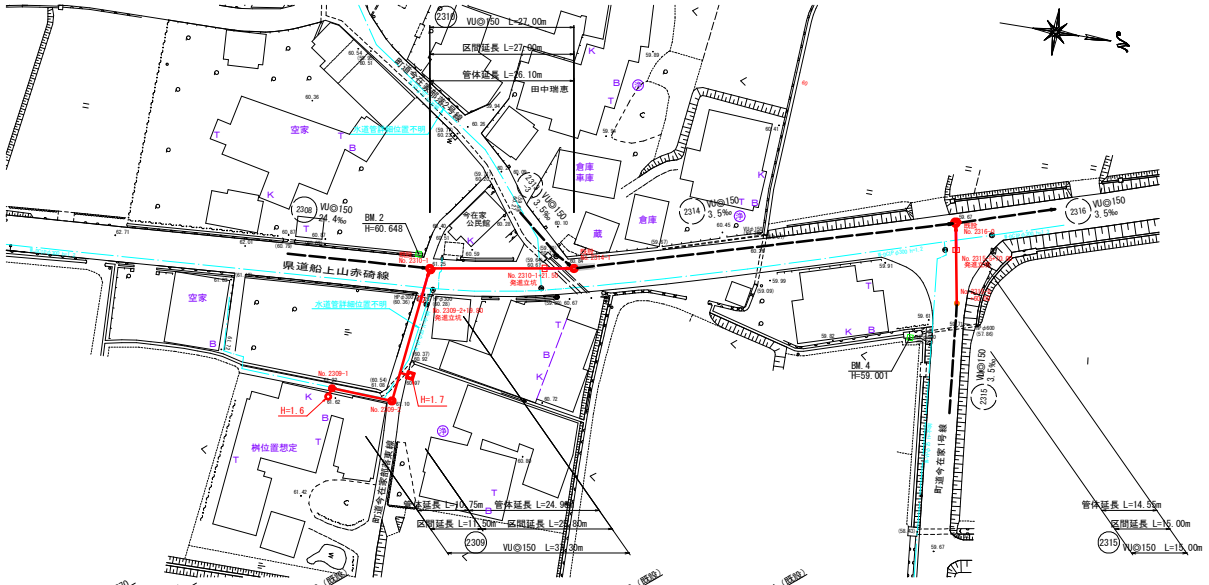
平　面　図

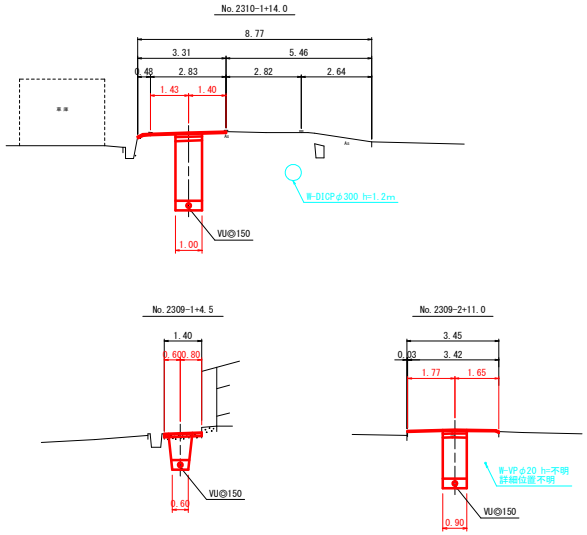
S=1:500

凡　　例
実施路線
計画路線
既設路線
塩ビ製小型マンホール
レジン製小型マンホール
楕円組立マンホール
0号組立マンホール
1号組立マンホール
副管付マンホール
マンホールポンプ
汚水桝（標準・塩ビ製蓋）
汚水桝（標準・防護ハット）
汚水桝（ドロップ・塩ビ製蓋）
汚水桝（ドロップ・防護ハット）
水道管
ＮＴＴケーブル
中電ケーブル



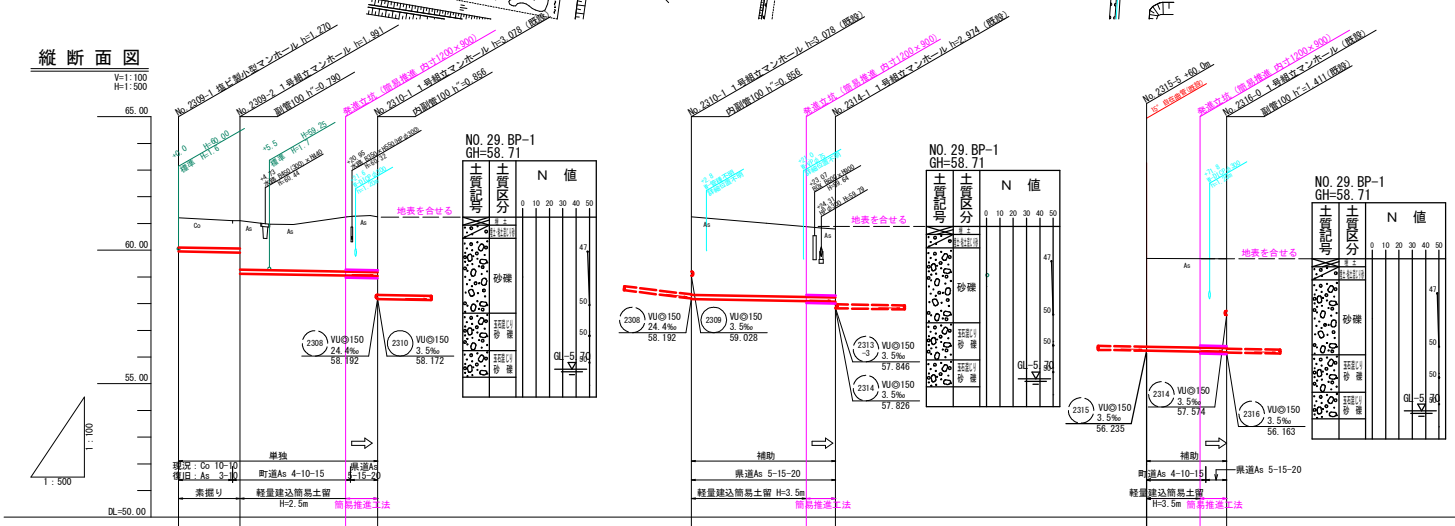
標準断面図

S=1:100



縦　断　面　図

V=1:100
H=1:500



管番号	2309				2310				2315			
管径 (mm)	VU@150		さや管 300A VU@150		VU@150		さや管 300A VU@150		VU@150		さや管 300A VU@150	
勾配 (‰)	3.5				3.5				3.5			
延長 (m)	37.30				27.00				15.00			
地盤高 (m)	61.22	61.11	61.24	61.25	61.25		60.89	60.80	59.69		59.66	59.68
土被り (m)	1.11	1.04 1.83	2.03	2.06	2.92		2.64	2.57	3.30		3.32	3.34
計画管底高 (m)	59.990	59.909 59.119	59.090	59.028	58.172		58.097	58.077	56.235		56.200	56.183
掘削深 (m)	1.38	1.31 2.10	2.30	2.33	3.19		2.90	2.83	3.56		3.59	3.60
追加距離 (m)	0.00	11.50	31.30	37.30	0.00		21.50	27.00	0.00		10.00	15.00
単距離 (m)	0.00	11.50	19.80	6.00	0.00		21.50	5.50	0.00		10.00	5.00
測点	2309-1	2309-2	+19.80	2310-1	2310-1		+21.50	2314-1	2315-5		+60.00	2316-0

施工時の注意点

- 汚水枡設置位置は、施工前に再度確認すること。
- 地下埋設物は、貸与資料・現地で止水弁を確認し平面図に記入しているが、不明の箇所について試掘、移設等を行うこと。
- 県道は片側交互通行とし、それ以外の路線は、通行止め通行を基本としている。
- 2309路線（No.2309-1～No.2309-2）は幅員が狭いため、借地等を行い施工すること。また、水路があるため敷鉄板を設置も検討すること。
- 2309路線、No.2309-2+5.5付近の汚水桝取付管接続部は、側溝下付近であり、支障があれば水路と取壊し復旧を行うこと。
- 2309路線、No.2309-1～+10.1区間のコンクリート舗装部の復旧は、通行車両がないため、歩道舗装(As 3-10)で全面復旧を行うこと。
  ※水路取り壊しを行うのであれば、側溝の水置を確認し水替え工も検討すること。
- 掘削時に土質状況を確認し、簡易推進工法が施工可能か確認すること。
- 直近の土質資料なし、近隣の柱状図を使用。（地表面を現況高に合わせた。）
- 施工時の高さ管理を徹底すること。

位　置　図

S=1:5,000

※地下埋設物等の位置については、試掘等で確認すること。

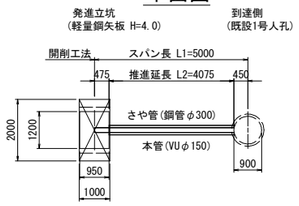
位置	琴浦町　大字西宮		
工事名	特環西宮地区（ 32-3 工区）工事		
図名	平面図・縦断面図・標準断面図・位置図		
単位	m	縮尺	図示
2葉中ノ1			
令和 2 年度施行		琴浦町	

簡易推進概要図(参考図)

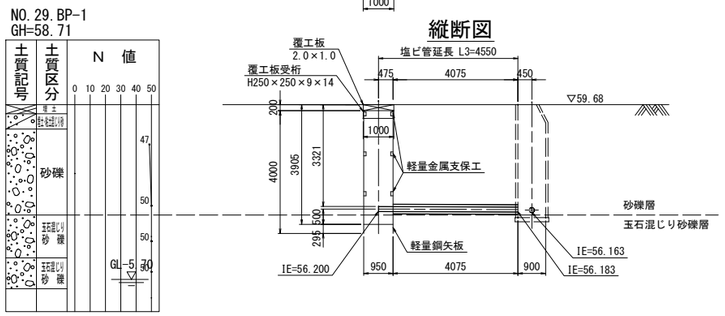
S=1:100

2315路線 (補助)

平面図

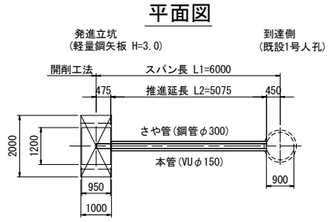


縦断図

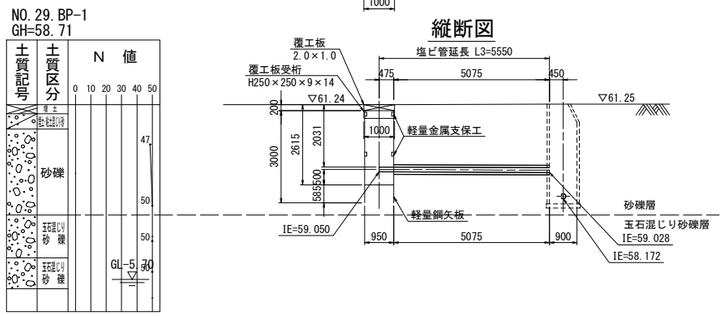


2309路線 (単独)

平面図

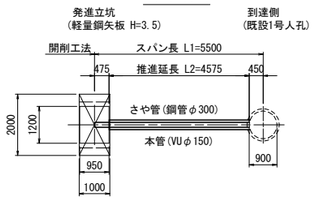


縦断図

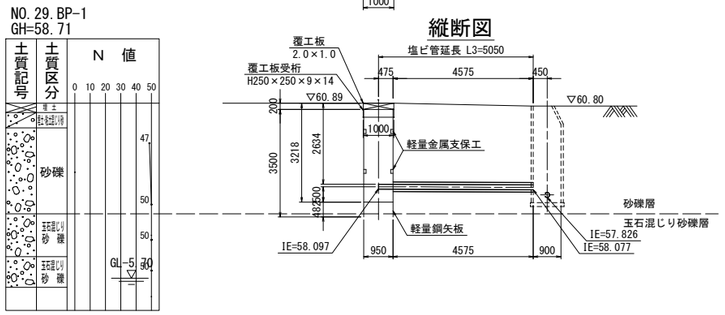


2310路線 (補助)

平面図

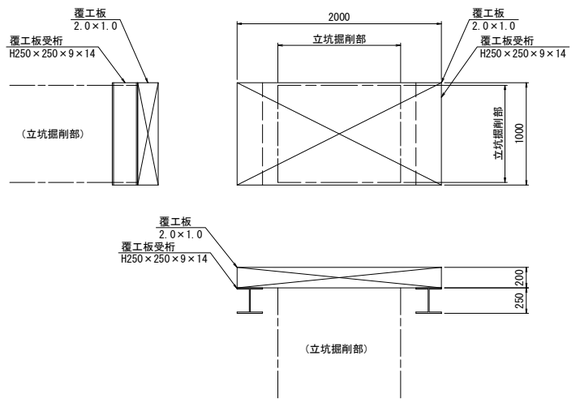


縦断図



路面覆工詳細図

S=1:30



留意点

・簡易推進工事では、発進立坑部で数日間の開放期間があるため路面覆工を考慮した。
・発進立坑について
　発進坑口部に鏃切が必要なため、全損分が少ない軽量鋼矢板とした。
　必要最小寸法は、内寸で900×1200である。（内寸900以上であるため、立坑幅を950とした。）
　上記2点に問題がなければ、建込簡易土留めの使用も可能。

位　置	琴浦町　大字西宮		
工事名	特環西宮地区（ 32-3 工区）工事		
図　名	簡易推進概要図（参考図）		
単　位	m、mm	縮　尺	図　示
2葉中ノ2			
令和 2年度施行		琴浦町	